

第三帝國

主盟 茅原華山

編輯主任 石田友治

EINLADUNG

zur deutschsprachigen Tagung des JSPS-Forschungsprojekts:

„Das dritte Reich“

in der modernen deutschsprachigen Literatur und Philosophie. Entstehung, Entwicklung, Transformation

Zeit: Freitag, 4. März 2022, 13:30 Uhr bis 17:30 japanischer Uhrzeit
Ort: Universität Kyushu, Ito-Campus, East Zone, Seminarraum E-B-633
und online in Zoom
Anmeldung: per E-Mail (884end@gmail.com) bis zum 28. Februar 2022

- Programm:
- 13:30~14:00 Yasumasa Oguro (Universität Kyushu) Einführung
 - 14:00~15:00 Yasumasa Oguro (Universität Kyushu) „Das dritte Reich“ vor der NS-Zeit in Deutschland und Japan
 - 15:10~16:10 Marcus Conrad (Universität Nagoya) Lessing und Joachim. Zur triadischen Struktur in Lessings religionsgeschichtlichem Entwicklungsdenken
 - 16:30~17:30 Ulrich Beil (Universität Kyushu) Eschatologie der Existenz. Hermann Hesses *Steppenwolf* und sein multimediales „drittes Reich“

Das Forschungsprojekt, gefördert durch den JSPS-Forschungszuschuss „Scientific Research“ (B), Nr. 21H00516, wird von Prof. Dr. Yasumasa Oguro im germanistischen Seminar an der Universität Kyushu geleitet, um sich fünf Jahre vom April 2021 bis zum März 2026 mit der Formel „das dritte Reich“ vor der NS-Zeit in Deutschland und Japan interdisziplinär auseinanderzusetzen.

内容
司志の心算
石田友治

志を述ぶ

大正十二年九月十日

進會



第2回「第三の国」科学研究会

科学研究プロジェクト「近現代ドイツの文学・思想における「第三の国」—成立・展開・変容—」のご案内です。
今回はドイツ語を使用言語とする国際コロキウムとして行います。参加方法は、対面、オンライン、どちらでも構いません。

2022年3月4日 **金** 13:30～17:30

会場 九州大学文学部独文学研究室(E-B-633)ならびにオンライン会場(Zoom 使用)
参加者には、対面・オンラインの参加を問わず、後日、開催URLをお送りいたします。

申し込み お名前、所属、専門、希望会場を2月28日までに事務局(884end@gmail.com)にご連絡ください。

プログラム

- 13:30～14:00 Yasumasa Oguro (Universität Kyushu)
Einführung
- 14:00～15:00 Yasumasa Oguro (Universität Kyushu)
„Das dritte Reich“ vor der NS-Zeit in Deutschland und Japan
- 15:10～16:10 Marcus Conrad (Universität Nagoya)
Lessing und Joachim. Zur triadischen Struktur in Lessings religionsgeschichtlichem Entwicklungsdenken
- 16:30～17:30 Ulrich Beil (Universität Kyushu)
Eschatologie der Existenz. Hermann Hesses *Steppenwolf* und sein multimediales „drittes Reich“

参考1:本研究の概要

- 種 別 科学研究費補助金 基盤研究(B)
- 研究期間 2021-2025年度
- 研究課題 近現代ドイツの文学・思想における「第三の国」—成立・展開・変容—
(課題番号 21H00516)
- 研究代表者 小黒 康正(九州大学大学院人文科学研究院、ドイツ文学、教授)

参考2:研究の目的

本研究では、本来、前近代的な宗教思想であった「第三の国」Das dritte Reich が

- ① 近代的な社会思想として啓蒙主義期にいかにかに成立したか、
- ② 19世紀後半から第一次世界大戦期にかけていかにかに国際的に展開したか、
- ③ その後「第三帝国」Das Dritte Reich というナチスの思想へといかにかに変容したか、

以上の三つの問いをめぐって5年間の共同研究を、ドイツ側の協力を得て行う。

12世紀イタリアで生じた歴史を三分割する「第三の国」という思想が、ナチスの語彙とは異なる意味で用いられ、第一次世界大戦時までのヨーロッパやロシア、それに日本に多大な影響を与えたことは、日本は言うに及ばず、ドイツでも、いまだ学術的に究明されていない。「第三帝国」以前の「第三の国」を初めて本格的に検討する本研究は、未開拓領域の全容を明るみにすることで、文学や思想などの関連分野に新たな学術貢献を国際的にもたらす。

参考3:第1回「第三の国」研究会(2021年12月18日、日本語)の内容

発表1 小黒 康正(九州大学):「第三の国」研究の射程

発表2 今井 宏昌(九州大学):ヴァイマル期ドイツ義勇軍運動と「第三の国」

発表3 吉田 治代(立教大学):ペルン(1917-19)のネオ・ヨアキム主義 —フーゴ・バルとエルンスト・ブロッホ